

第70期 株主通信

2020年1月1日 → 2020年12月31日

**Standoutなパッケージング
ソリューションを目指し、
豊かで楽しい生活の創造に向けて
挑戦と進化をつづけてまいります。**

代表取締役社長 竹本 笑子

証券コード：4248

トピックインタビュー

株主の皆様には、平素より格別のご高配をいただき、厚く御礼申し上げます。

また、新型コロナウイルス感染症に罹患されている方々や、困難な状況におられる皆様に心よりお見舞いを申し上げます。

2020年12月期の事業環境と実績についてお聞かせください。

新型コロナウイルス感染症拡大によって経済活動が著しい制約を受ける中、当社の主要品目である化粧品向けの容器需要が減少した一方で、除菌などの衛生関連向け容器については需要が拡大し、その供給に注力しました。

2020年12月期の業績について、売上高は148億63百万円(前期比2.2%減)となりましたが、内製化努力等による生産性の向上、樹脂原材料価格の低下、償却負担の減少等の要因により、営業利益は17億78百万円(同15.6%増)、経常利益は17億89百万円(同13.6%増)となりました。親会社株主に帰属する当期純利益は、インドの子会社において固定資産の減損損失を計上したこと等から4億90百万円(同53.0%減)となりました。

現在推進中の中期計画についてお聞かせください。

Standoutのさらなる強化を目指し、当社は現在、中期計画(2021～2023)に取り組んでいます。コロナ禍における厳しい外部環境を踏まえ、従来から掲げてきた重点テーマであるサステナビリティの取り組み、開発提案力の強化、圧倒的スピードの実現、WEBマーケティングの展開を推し進めることで、他社との差別化を図ってまいります。

特にサステナビリティの取り組みと開発提案力の強化を一体とみなして、新たな製品は、原則すべて環境に配慮し、サステナビリティに対応した製品開発にシフトしていきます。

また、当社は2020年11月にホームページを刷新するなど情報発信の拡充を図り、お客様との幅広い接点の確保を目

指すWEBマーケティングの強化を進めています。さらに、お客様のアクセス以後のスピード重視を徹底し、利便性向上に力を注いでまいります。また当社はモノづくりの会社であり、スピード強化には開発拠点の拡充が必須です。同年4月に本格稼働した「TOGETHER LAB」は、お客様の理想の容器を圧倒的なスピードで実現できる開発拠点です。WEBマーケティングと「TOGETHER LAB」の相乗効果を追求し、最適な容器を最短のプロセスで提供することに努めてまいります。

加えて、海外市場の展開にも注力してまいります。2024年には世界最大の化粧品市場になる見通しの中国で新工場設置を視野に、スピード感のある事業展開を進めてまいります。また、コロナ禍の事業環境を踏まえ固定資産の減損処理を行ったインド事業についても重要性に変化はなく、引き続き成長に向けた取り組みを実施してまいります。

2021年12月期の見通しはいかがでしょうか。

コロナ禍の収束時期は不透明であり、当社の主要市場である化粧品・美容においても、外国人旅行者数や外出機会の回復は見込まれていません。今後は、より差別化された容器への需要が高まるものと予想します。こうした環境下において、2021年12月期の業績については、売上高150億80百万円(前期比1.5%増)、営業利益16億40百万円(同7.8%減)、経常利益16億45百万円(同8.1%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は11億30百万円(同130.3%増)となる見込みです。

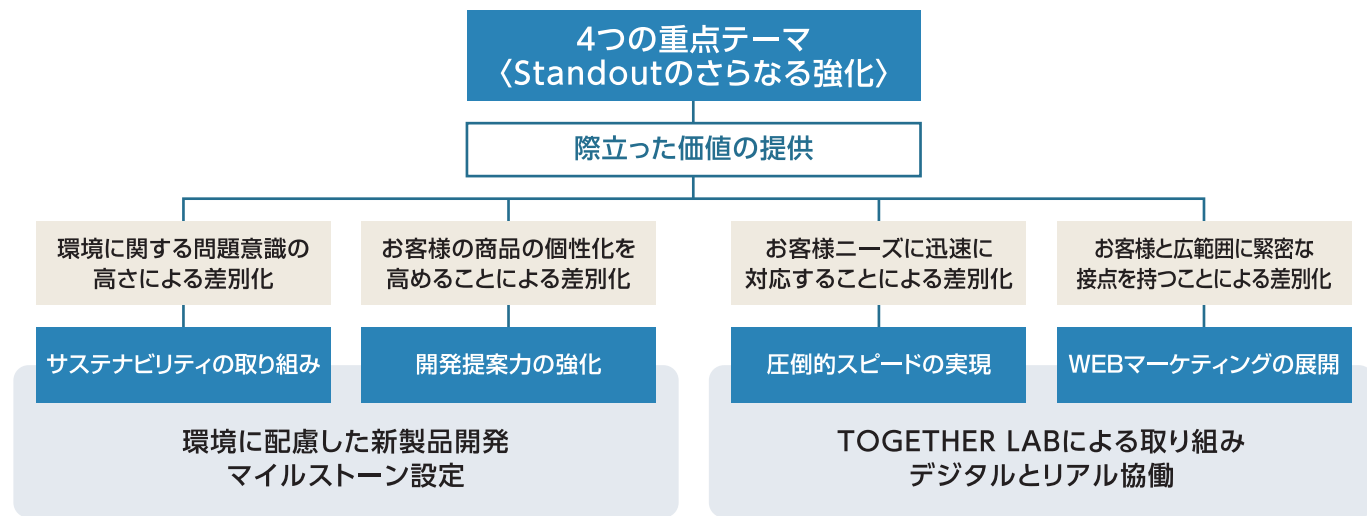
最後に株主の皆様へのメッセージをお願いいたします。

当社は、「世界の器文化に貢献」という使命の下、世界のサステナビリティな発展に貢献する容器開発を継続して進め、Standoutなパッケージングソリューションを提供してまいります。そのためには、社員が生き生きと働ける職場環境づくりを進めて「企業は人なり」の実践に取り組み、企業価値の向上に努めてまいります。株主の皆様には、今後ともより一層のご支援を賜りますようお願い申し上げます。

TAKEMOTO 中期計画の重点テーマ

重点テーマ

従来から掲げてきた重点テーマを押し進め、他社との差別化要素をさらに強化いたします。



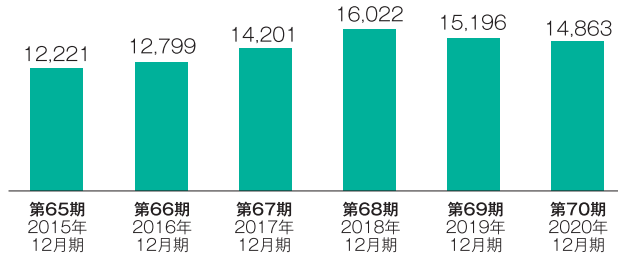
WEBマーケティングの展開

お客様の「利便性」を高め、当社の営業面での「幅広い接点」と業務プロセスの「生産性向上」を狙いとして、2020年11月に公式ホームページを大幅にリニューアルしました。

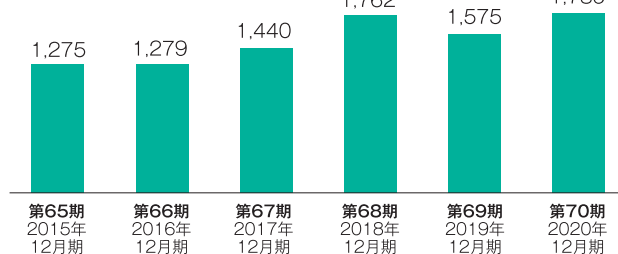


連結決算ハイライト

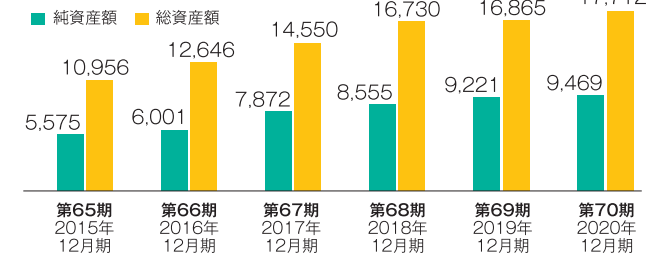
売上高 (単位:百万円)



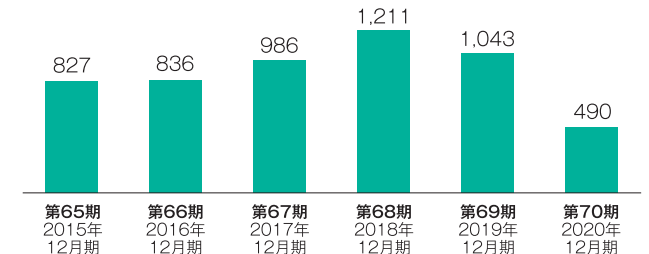
経常利益 (単位:百万円)



純資産額／総資産額 (単位:百万円)



親会社株主に帰属する当期純利益 (単位:百万円)



サステナビリティの取り組み

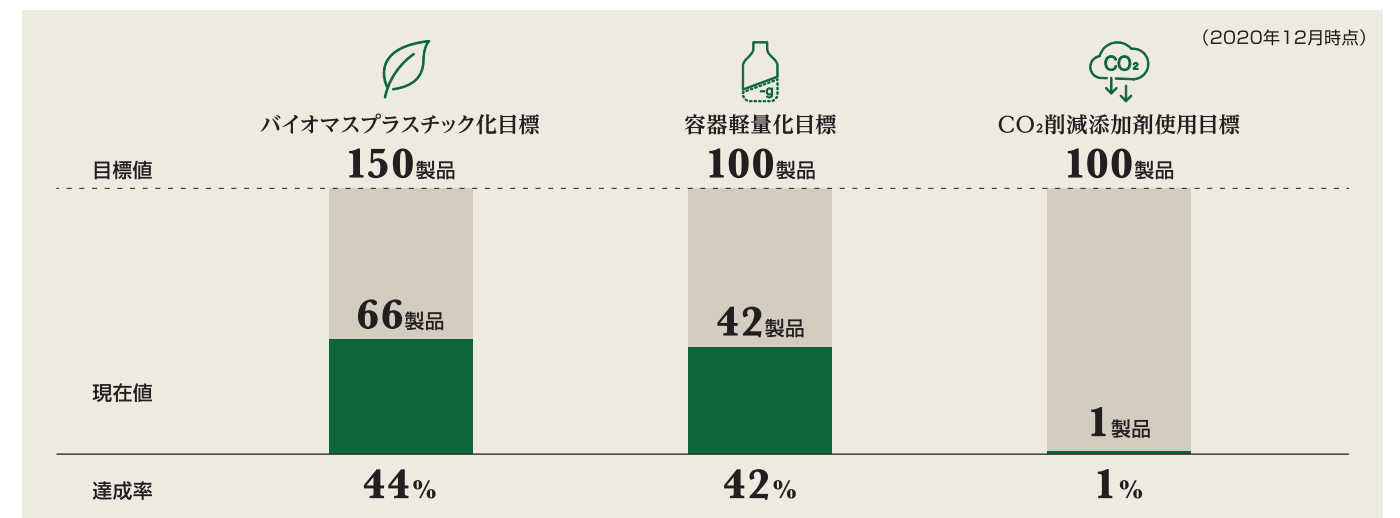
外部環境

2015年12月のパリ協定において環境問題に関する国際的な枠組みが成立し、多くの国が2050年までに「カーボンニュートラル」を目指しています。同時に化石燃料からのエネルギーを減らすために、資源を循環させる仕組みを持った経済「サーキュラーエコノミー」に移行することが重要となっています。

当社の方針と取り組み

包装の役割(保護性・簡便性・快適性)を踏まえつつ、当社新製品については、原則として、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーに配慮したものとします。

当社では、容器が環境に及ぼす影響を考慮し、カーボンニュートラル、サーキュラーエコノミーを実現していくために、「2025年までに約束する3つのマイルストーン」とした目標を掲げ、その達成に取り組んでまいります。



2025年までに当社が在庫する容器本体の150製品でバイオマスプラスチックを使用します

2025年までに当社が在庫する容器本体の100製品で軽量化を実現します

2025年までに当社が在庫する容器の100製品で燃焼時のCO₂排出を削減できる添加剤を使用します

植物由来の原材料を使用した容器

植物(サトウキビ等)からとれる糖蜜を原材料とし、樹脂を生成する際のエチレンを植物由来に変えたバイオマスプラスチックでの容器の開発に取り組んでいます。

>主な取り組み事例 バイオPET、バイオPE 素材を使ったボトルの新製品開発

軽量化容器の開発

石油由来の原材料の使用量を従来品より削減した軽量化容器の開発も実施しています。材料や形状を工夫することで、必要な強度や品質を保った軽量化容器の開発に取り組んでいます。

>主な取り組み事例 PE製、PP製、PET製のボトルやキャップなどで軽量化製品をラインナップ

CO₂の発生量抑制

燃焼時にCO₂排出量を少なくできる添加剤、ECO₂を使用した容器の開発に取り組んでいます。

>主な取り組み事例 PE製、PP製のボトルやキャップなどでの環境対応製品の拡充

サステナビリティ対応の新製品の一例

S-PPC300のバイオPE

使いやすさを考慮した、大きい口径のジャー容器です。化粧品、ヘアケア、ボディケアなど幅広くご使用いただけます。本体・スクリュー CAP は「バイオPE素材」と「CO₂削減添加剤(ECO₂)」、ワンタッチCAP は「ECO₂添加剤」で環境対応が可能です。



PEPI-150、PEPI-180、PMP-400の軽量化&バイオPET化

既存の金型、プリフォームを利用して約25%軽量化した製品を作製いたしました。在庫品はバイオPET100%となっており、サステナビリティを考慮した製品となっています。今後も引き続き、軽量化の取り組みを進めてまいります。



会社概要／株式の状況 (2020年12月31日現在)

会社概要

商 号	竹本容器株式会社 Takemoto Yohki Co., Ltd.
代 表	竹本 笑子
設 立	1953年5月19日
所 在 地	〒111-0035 東京都台東区西浅草一丁目5番15号
資 本 金	8億342万1,725円
事業内容	プラスチック製の包装容器の製造及び販売

役員 (2021年3月26日現在)

代表取締役社長	竹本 笑子
常 務 取 締 役	深澤 隆弘
取 締 役	竹本 えつこ
取締役(監査等委員)	穴田 信次
	田中 達也
	石川 雅郎
	小川 一夫

株式情報

発行可能株式総数	40,997,600株
発行済株式の総数	12,529,200株
株 主 数	14,958名

大株主 (上位10名)

株主名	持株数(株)	持株比率(%)
竹本 笑子	3,370,000	26.90
竹本容器若竹持株会	634,500	5.06
竹本 えつこ	613,900	4.90
株式会社 日本カストディ銀行(信託口)	599,200	4.78
深澤 隆弘	533,200	4.26
竹本 雅英	426,000	3.40
日本マスタートラスト 信託銀行株式会社(信託口)	284,500	2.27
深澤 英里子	220,000	1.76
竹本 力	200,000	1.60
山本 健人	170,000	1.36

株式分布状況



株主優待制度について

当社では、株主の皆様の日ごろからのご支援に感謝するとともに、株主の皆様にご当社製品を実際にご利用いただくことを目的として、下記の通り株主優待制度を設けています。

【株主優待制度の概要】

- (1) 株主優待制度の対象となる株主様
毎年12月31日現在の株主名簿に記載または記録された100株以上保有の株主様を対象といたします。
- (2) 株主優待の内容

保有株式数	優待内容
100株以上	当社が企画開発したオリジナル容器を包装容器に使用した特選品

(3) 贈呈の時期

株主名簿確定後にオリジナルボトルの製造を行い、毎年4月に発送しております。

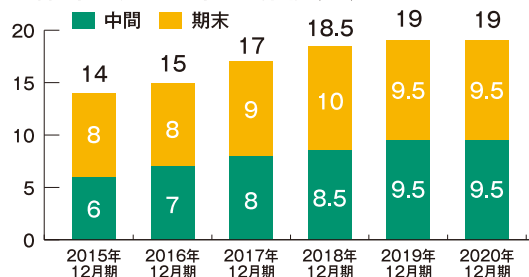
【お問い合わせ先】

株主優待事務局 (2021年4月21日～5月20日まで)
0120-277151 (9:00～17:00 / 土・日・祝日除く)

配当について

当社は、株主の皆様に対する利益還元におきまして、配当性向水準に留意し、業績に対応した成果の配分を行うことを基本方針としています。2020年12月期の期末配当につきましては、1株当たり9.5円といたしました。中間配当の1株当たり9.5円と合わせますと年間19円となります。

1株当たりの配当金の推移(円)



なお、当社は、2019年1月1日付で普通株式1株につき2株の割合で株式分割を行っており、2018年12月期以前の1株当たり配当金の金額は、当該株式分割の影響を考慮して記載しております。

株主メモ

事業年度	1月1日から12月31日まで
期末配当金受領 株主確定日	12月31日
定時株主総会	毎事業年度の末日翌日から3ヶ月以内
株主名簿管理人 (同連絡先)	三菱UFJ信託銀行株式会社 証券代行部 東京都府中市日鋼町1-1 電話0120-232-711(フリーダイヤル)
公告の方法	当会社の公告方法は、電子公告としております。電子公告は当社ホームページに記載しており、そのアドレスは以下のとおりです。 https://www.takemotokk.jp ただし、事故その他やむを得ない事由によって電子公告ができない場合は、日本経済新聞に掲載して行います。